

この自己点検・評価報告書は、麻生公務員専門学校福岡校の自己点検・評価活動の結果を記したものである。

# 自己点検・評価 報告書

麻生公務員専門学校 福岡校

平成28年 5月 1日

校 長 竹口 伸一郎

自己点検・評価責任者

校長代行 蓑原 睦

## 目 次

|       |               |        |
|-------|---------------|--------|
| 基準 1  | 理念・目的         | - 2 -  |
| 基準 2  | 教育の内容         | - 3 -  |
| 基準 3  | 教育の実施体制       | - 5 -  |
| 基準 4  | 教育目標の達成度と教育効果 | - 6 -  |
| 基準 5  | 学生支援          | - 7 -  |
| 基準 6  | 学生募集・受け入れ     | - 10 - |
| 基準 7  | 社会的活動         | - 11 - |
| 基準 8  | 管理運営          | - 12 - |
| 基準 9  | 財 務           | - 13 - |
| 基準 10 | 改革・改善         | - 14 - |

平成27年度  
(2015年度)

## 評価結果

- S : 達成度が高い
- A : ほぼ達成している
- B : 達成しているがやや不十分
- C : 達成は不十分で改善を要する (不適合)

=====

## 基準 1 理念・目的

=====

### 項目総括

「建学の精神」はルールブックをはじめとして教職員に周知されており、学生にはGCB教育や学校便覧を通じて浸透を図っている。これらは学外に Web サイトやパンフレットを通じて公表している。

「教育理念」についても同様であり、また、各教職員の意見を促して反映させるよう努めている。教育目標や人材育成像はキックオフ会議にて発表しており、Web サイトやパンフレットでも公表している。

### 主な課題及び改善の方向性

現状で十分と思われませんが、更に強化されるのが望ましい。

### 中項目 1-1

建学の精神、法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像は、明文化し社会に公表しているか。理念は学校法人から各学校、各学科等、各レベルの理念や目的に展開し、学校構成員に共有されているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

問題なし。  
社会に公表、学校構成員で共有している。

### 小項目 1-1-1

学校創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知を図り、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

常勤職員にはルールブックを配布し保持している。また、各種媒体を通じて社会へ公表している。

### 小項目 1-1-2

「各校の教育理念」は、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生として相応しい資質として周知させている。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

ルールブック、学生便覧などの印刷物にて本校関係者は閲覧でき、また、各種媒体を通じて社会へ公表している。また、GCB教育を通じて職員・学生とも学ぶ体制ができている。公務員試験の各種受験指導を通じて、学生に浸透させている。

### 小項目 1-1-3

「各校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教務会議では意見交換が促されるよう運営しており、教職員個人の意見を踏まえて反映させている。また、キックオフ会議においても毎年度方針を策定しており、その度に見直しを図っている。

### 小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育成人材像は、「法人の理念」および「各校の教育理念」から導き出されたものになっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

キックオフ会議において毎年度発表している。

### 小項目 1-1-5

各学科の教育目的、教育計画は文書化し、学校構成員に提示・共有し、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学生便覧や各種媒体を通じて提示・公表している。

### 小項目 1-1-6

各学科の教育目的を実現するための人的資源、物的資源、財務資源等は適切に確保されているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

毎年度運営計画を立案し、必要な資源を確保している。

## 基準 2 教育の内容

### 項目総括

学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会・高校現場からそれぞれヒアリングし、カリキュラムに反映させている。シラバスは教員間で共有し、学生に配布して授業での到達度が把握できるようになっている。授業アンケートの結果については主に管理職からアドバイスすることで改善を促す。授業内容はすべて録画システムにより映像化され、学生の復習用として以外にも授業の質向上のための教員用学習材料としても機能している。キャリア教育については、GCBをはじめとして、受験指導全般において常に指導しており、卒業時までの学生の成長につながっている。また、適宜リメディアル教育も実施している。

### 主な課題及び改善の方向性

各種委員会や高校現場からの意見やニーズは真摯に受け止め、取り入れていく必要がある。そのためにも特に高校現場からの情報は募集にもつながるため、丁寧にコミュニケーションを図り関係性を深めていくことが望ましい。

入学者の基礎学力は年々落ちてきているように思えるため、リメディアル教育の重要性が高まってくると思われる。早期に対策することで退学防止につながる。

### 中項目 2-1

各学科の教育目標、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みがされているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

学校内外の意見を取り入れ、毎年度カリキュラムを編成している。

学内テキストもそれに合わせて毎年度改訂しリニューアルされている。

### 小項目 2-1-1

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会を開催し、外部の意見を取り入れている。また、年間通じて高校からの出張講義依頼が多数あり、直接高校側から公務員受験に対するニーズをヒアリングしている。直接でなくても、常に広報職員を通じてニーズを把握しており、広報職員からの各種提案も参考にしている。

### 小項目 2-1-2

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバス・コマシラバスを作成しているか。また、シラバスは事前に学生に配布しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

学科ごとにシラバスを作成しており、学生に配布・説明している。

### 小項目 2-1-3

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者を入れて、高校生の現状、社会ニーズを反映させるために、意見を取り入れているか

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会を開催し、外部の意見を取り入れている。また、年間通じて高校からの出張講義依頼が多数あり、直接高校側から公務員受験に対するニーズをヒアリングしている。直接でなくても、常に広報職員を通じてニーズを把握しており、広報職員からの各種提案も参考にしている。

### 小項目 2-1-4

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に検証・見直しているか

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

シラバスは科目担当者間で参考しあいながら作成し、共有ファイルに保存している。年度毎に作成することを基本としており、その度に担当者において見直しを図る。

### 中項目 2-2

各学科の教育目的、育成人材像に向けた教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みがされているか

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

教師アンケートの実施、授業録画システムの運用、スキルアッププログラムなどそれぞれ実施している。

## 小項目 2-2-5

学生による授業評価を定期的に行ない、評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学生による授業アンケートを年2回実施している。改善の余地がある場合、管理職がアドバイス形式にて本人に伝達・指導する。

## 小項目 2-2-6

学生による授業評価以外で、授業改善のための組織的取り組みを行なっているか。(授業改善委員会(FD)等)

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各科目担当間において授業における説明方法・問題の解き方・解説方法など随時互いに相談・アドバイスする風土ができています。模試解説では解説方法の打ち合わせを毎度実施している。各教室で授業録画しており、新任教員でも視聴することができます。授業改善委員会等の形式的なものの設置は現状しておらず、検討の余地あり。

## 小項目 2-2-7

教員の専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

スキルアッププログラムを作成している。

## 中項目 2-3

各学科の教育目的、育成人材像に向けた業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みがされているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

GCB教育や受験指導を通じてのキャリア教育、リメディアル教育ともに実施している。

## 小項目 2-3-8

該当なし

## 小項目 2-3-9

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

公務員リテラシーの授業を通じて職業理解を実施している。公務員総合科では、職場見学を年間数回実施している。GCB教育においてもキャリア教育・志の教育を実施している。

## 小項目 2-3-10

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

入学前の学生を対象とした特別講座を実施している。また、成績不振の学生を対象に随時補講を実施している。

### 基準 3 教育の実施体制

#### 項目総括

公務員試験合格に向けて、勉強に専念できるような人的配置・環境整備をしている。  
また、非常勤講師から授業での感想や意見をヒアリングしてすぐに対応できるようにしている。

#### 主な課題及び改善の方向性

非常勤講師が授業しやすい環境を維持するためにも、これまでどおり授業での感想や意見をヒアリングしてコミュニケーションをさらに図っていく。

職員採用においては明文化することが課題である。

#### 中項目 3-1

各学科の教育目標、育成人材像に向けた教育の実施体制は整備されているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

職員採用においては明文化することが課題である。

#### 小項目 3-1-1

教育目的を達成する優秀な人材を採用するために、適切な採用基準を設けているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

本校HPにおいて、教育理念、求める人材像、能力等における必要要件について明文化して募集活動を実施している。

#### 小項目 3-1-2

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各科目、年齢構成、ともにバランスよく組織している。

#### 小項目 3-1-3

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

授業ごとに報告書を作成している。また、問題学生に関する情報や授業の感想などは随時担任が報告し、担任がすぐに改善に向けたアクションをとっている。

#### 中項目 3-2

各学科の教育目標、育成人材像に向けた教育環境が整備・活用されているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

適切に整備・活用されている。

#### 小項目 3-2-4

図書室・図書コーナーがあり、教員や学生が利用できる関連図書等を備えているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

福岡キャンパス10号館に設置している。また、利用について学生へ周知・指導を行っている。

#### 小項目 3-2-5

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所はあるか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各担任がホームルームや教務室にて随時指導したり相談を受けたりしている。また、PCルームを利用して受験情報を収集することもできる。面接報告書を各教室に設置している。民間就職については、就職グループが支援している。

#### 小項目 3-2-6

学内外実習時の安全対策を文書化し、十分な対策を取っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

早期合格した場合に官公庁実習という名目で就業することがあるが、この際には早期合格者対応について文書にまとめたものがあり、これを参考にして該当学生が卒業するまでの注意事項を就業前に事前指導している。

## 小項目 3-2-7

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

防災・防犯設備については、保守点検を毎月実施しており、点検結果の説明を受けたうえで、報告書を適切に保管している。使用方法については、受入時や消防訓練などの機会を通じて、教職員の理解度向上に取り組んでいる。

## 小項目 3-2-8

空調などの学校設備、机・イス等の教育備品、実習で使用する教具などの教育設備等を定期的に管理・点検しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

空調などの建物付帯設備については、定期的に保守点検を実施しており、点検結果の説明を受けた上で、報告書を適切に保管している。万が一、故障などが発生した場合も、修繕依頼書を受領した後、直ちに修理手配を行っている。

教育備品や教具についても、固定資産管理規程を整備した上で、当該運用ルールに基づいて適切に管理している。

## 小項目 3-2-9

建物の長期改修計画を策定し、計画的に改修しているか。

■自己点検・評価結果： C (不適合)

■コメント

現在は、長期改修計画は作成されていないが、H28 年度に専門家による建物診断を実施する予定であり予算の手当ても行っている。

=====

基準 4 教育目標の達成度と教育効果

=====

## 項目総括

公務員試験に合格するための指導は徹底されており、目標数値などを含めた受験戦略やクラス運営は担任指導を基本としつつも、学科単位で学生の面倒を見ることとなりチームで目標達成に向けて一致団結している。

また、結果については外部へも公表するため、結果集約・管理・検証がきちんとなされている。

## 主な課題及び改善の方向性

現状問題なく運営できている。

## 中項目 4-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、その達成への取り組みと評価がされているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教育目的や育成人材像は学外に向けても発信しており、公務員合格後の社会貢献を見据えた人材を育成することを意識している。

## 小項目 4-1-1

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また結果について記録し、検証・報告したか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

公務員試験に合格するための授業を展開している。期末試験は委員を中心として成績処理しており、麻生塾システムへ入力・出力して各家庭へ送付している。試験の内容については非常勤講師も含めて事前に周知しており、授業内容とリンクするように問題を作成している。実施後に問題点の洗い出しを行い、次回に反映させている。

## 小項目 4-1-2

学科目標の国家試験および公務員試験の合格率・合格者数等の目標を設定・共有し、結果を検証し改善等しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

キックオフにて目標を掲げている。また、公務員受験に関しては管理ファイルを用いて全体を把握しており、教務会議を通じて過年度の傾向を踏まえて受験戦略を話し合い、結果についても管理ファイルで一覧でき、これをもとに会議にて総括している。

## 小項目 4-1-3

該当なし

## 小項目 4-1-4

該当なし

## 小項目 4-1-5

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教務会議・キックオフ会議にて目標数値を教員間で共有している。退学懸念や退学決定の学生に関しては保護者を交えて面談し、その報告書を作成・保存している。教務会議においても情報共有している。また、ホームページにて在籍者数や卒業生数に加えて退学者数を公表している。

## 小項目 4-1-6

卒業生(同窓生)の進路・就職先等を記録し、公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

管理ファイルを用いて受験結果を集約しており、進路決定についても同ファイルにて集約している。また、合格情報はパンフレットにて公表している。

## 小項目 4-1-7

該当なし

## 基準 5 学生支援

## 項目総括

学生は在学時に勉強・学校生活に集中できるよう支援の体制を整備している。問題発生時や気に掛かる事案などあればすぐに保護者連絡をすることとなり、場合によっては保護者に来校していただいて三者面談を実施している。

## 主な課題及び改善の方向性

障がいを持った学生が今後も一定人数本校への入学を希望してくると考えられるが、その都度受け入れ可能かを判断する。もちろん、可能な限り受け入れていかなければならないと考えている。

## 中項目 5-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、学生支援が整備され組織的に行われているか(在学時)

■自己点検・評価結果： A

■コメント

スムーズな学生生活が送れるよう整備している。

## 小項目 5-1-1

担任による学生の面談を定期的に行ない、面談内容を記録しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

入学後に担任との面談を必ず組んでいる。また、受験年次は受験願書提出ピーク期を前にして個人面談を実施する。非受験年次は進級時に保護者を交えて三者面談を実施する。また、問題が発生次第随時面談を実施しており、ガイダンス記録表に詳細に記入する。この情報は周知され共有ファイルに書類を保管している。

## 小項目 5-1-2

該当なし

小項目 5-1-3

担任以外にスクールカウンセラーに相談できる体制が整っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学生相談室を設置している。これらは担任が学生の様子を見て必要に応じて利用を促している。

小項目 5-1-4

学内に、ハラスメントに関する相談窓口があり、有効に機能しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

ハラスメントに関する相談メールアドレスを周知している。

小項目 5-1-5

保護者と計画的な相談会・面談を行っており、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

入学後に保護者会を開催している。また、月1回を目安として保護者通信を発行する。

小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援があるか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

経済的理由による修学支援として授業料免除制度を整備している。日本学生支援機構の奨学金手続きを中心に、都道府県、市町村、各種団体等の奨学金について学生への案内、手続き支援をおこなっている。

小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

公務員試験の性質上、留学生は受け入れていない。社会人については中上級クラスで受け入れている。障がい者等については、入学前に面談を組むなどして保護者を踏まえて十分に説明し、学校生活と受験に関しての理解をいただいた上で受け入れている。

小項目 5-1-8

直営の学生寮等、学生の生活支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

男女共に直営寮および留学生専用の学生寮を完備している。寮則を遵守し運営をおこなっており、担当者および各学校責任者による定期的な巡回で、寮監および寮生より状況把握のための聞き取りをおこなっている。寮生に対してのアンケートを実施し、満足度向上に繋がる改善をおこなっている。

小項目 5-1-9

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

非受験年次においては希望者を募って部活動参加を認めている。公式試合などに際しては公欠扱いするなど配慮している。また、これらの活動はオープンキャンパスやパンフレットなどを通じて公表もしている。

中項目 5-2

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、学生支援が整備され組織的に行われているか(卒業後)

■自己点検・評価結果： A

■コメント

校友会を組織しており、各種サポート体制を整備している。

小項目 5-2-10

卒業生の会(同窓会等)があり学校情報の提供や卒業生同士の交流がなされているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

校友会を設置し、定期的に校友会総会を開催している。

小項目 5-2-11

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

校友会で希望者向けに再就職斡旋している。



小項目 5-2-12

該当なし

中項目 5-3

学校情報を適切に提供しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

Web サイトを通じて学校情報をアップロードしている。

小項目 5-3-13

学校情報を卒業生に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学校の現状についての情報はブログを中心に随時アップロードしている。

小項目 5-3-14

学校情報を保護者に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学校の現状についての情報はブログを中心に随時アップロードしている。また、また、月1回を目安として保護者通信を発行する。

小項目 5-3-15

学校情報を高等学校等に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学校の現状についての情報はブログを中心に随時アップロードしている。また、高校へ広報職員が定期的に訪問し、在校生・卒業生の情報をお伝えしている。

小項目 5-3-16

該当なし

=====

**基準 6 学生募集・受け入れ**

=====

**項目総括**

アドミッションポリシー、目指す就職先、学費・教材費等、入学選考、公務員受験結果などはすべて募集要項やパンフレットに記載している。

**主な課題及び改善の方向性**

建物内や教室内においては適切に収容できているが、募集要項記載の定員数を上回っているため、あまりにも定員数と実学生数の差が大きくなるようであれば、変更が必要。

**中項目 6-1**

学生募集活動は適正に行ない、入学選考は公正かつ適切に実施しているか

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

上記のとおりである。

募集要項記載の定員数を上回っているため、あまりにも定員数と実学生数の差が大きくなるようであれば、変更が必要。

**小項目 6-1-1**

学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を明示して、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

募集要項に記載している。

**小項目 6-1-2**

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等が明示されているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

パンフレットに記載している。

**小項目 6-1-3**

学校案内等には学費・教材費等がわかりやすく明示され、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

募集要項に記載している。

**小項目 6-1-4**

学校案内に入学者の選抜方法が明示されて、入学者選考を公正かつ適切に実施し、定期的に検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

募集要項に記載している。

**小項目 6-1-5**

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

パンフレットに記載している。

**小項目 6-1-6**

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

民間就職動向は年度によって左右するが、公務員希望者は一定の割合で存在しており毎年多数にのぼる。これらのニーズを満たすべく募集要項記載の定員を上回る学生数を受け入れているが、建物・教室数に対して収容人数は適切である。

=====  
**基準 7 社会的活動**  
=====

**項目総括**

公務員という職種性質上、ボランティア活動は積極的に参加するよう指導している。  
各官庁から参加依頼・参加協力の声が掛かることもあり、可能な限り参加することとしている。

**主な課題及び改善の方向性**

将来的には、  
高3コースについては値上げ、高2コースについては有料化  
となる可能性は否定できない。

=====  
**中項目 7-1**

計画的・組織的に社会活動への取り組みが推進されているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

きちんと推進している。

-----  
**小項目 7-1-1**

目標・計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各官庁からの依頼のものも含めて、年間複数回にわたってボランティアを学生に紹介し(完全希望制のものや動員を図るものなどさまざま)、実施している。

**小項目 7-1-2**

該当なし

**小項目 7-1-3**

地域貢献を目的とした無料公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

現役高校生を対象とする高2コース、高3コースを開講している。

**小項目 7-1-4**

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各官庁から毎年依頼されて、年間複数回にわたってボランティアを学生に紹介し(完全希望制のものや動員を図るものなどさまざま)、実施している。

=====

**基準 8 管理運営**

=====

項目総括

各運営会議は定期的開催されている。

防犯・防災マニュアル、個人情報保護規定、ハラスメント防止委員会、スキルアッププログラムなど、各種体制を整備している。

主な課題及び改善の方向性

特になし

中項目 8-1

学校の管理・運営体制が確立して、規定通りに運営しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

規定通りに運営している。

小項目 8-1-1

運営会議(MM 会議、共有会議、教務会議・部門会議等)は定期的開催しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

定期的開催し、議事録も作成している。

小項目 8-1-2

組織の構成員のそれぞれの職務分掌は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

組織図において各教職員は把握している。また、校務分掌は業務マニュアルに記載している。

小項目 8-1-3

決裁規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

稟議規程は文書化しており、学内ポータルサイトで全職員に対して公開している。内容について、最新化されていない箇所があるため、内容を最新化の上、改訂する予定である。

小項目 8-1-4

人事規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

就業規則等について冊子化は各部署にて閲覧可能な状況にしている。最新版の常備が課題。

小項目 8-1-5

人事考課制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

人事評価制度は文書化しており教職員が閲覧できる。

小項目 8-1-6

昇進・昇格制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

昇進昇格制度は文書化している。管理職向けには開示及び説明したが全教職員に開示まではいたっていない。

小項目 8-1-7

賃金制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

給与規定について冊子化は各部署にて閲覧可能な状況にしている。最新版の常備が課題。

小項目 8-1-8

採用制度は文書化し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： C (不適合)

■コメント

一定の採用のルールはあるが、採用制度は文書化までいたっていない。

小項目 8-1-9

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化して、それに基づく訓練を定期的実施しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各種マニュアルはイントラにアップしており、いつでも閲覧できる状態にある。また、年1回、避難訓練を実施している。

小項目 8-1-10

個人情報保護規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

個人情報保護規程が周知共有している。

小項目 8-1-11

ハラスメントに関する規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

ハラスメント防止委員会を設置しており、ハラスメント防止ガイドラインを周知共有している。

小項目 8-1-12

SD(スタッフディベロップメント)に関する計画がありそれに基づき実施しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

研修計画に基づき、必要に応じて研修に参加している。

基準 9 財務

項目総括

年度予算・中期計画が策定され、管理運営している。  
月次予算を作成し、分析・対策実施をしている。

主な課題及び改善の方向性

特になし

中項目 9-1

財務体質が健全であり財務運営が適切に行なわれているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

財務体質は健全であり財務運営は適切に行っている。

小項目 9-1-1

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

年度予算、中期計画書を作成しており、中期計画を踏まえた目標はキックオフ資料にて全体に周知している。

小項目 9-1-2

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

月次予決算を作成し、分析の後に必要な対策を施している。

## 小項目 9-1-3

会計監査(内部・外部)体制のルールを明確化にし、結果報告は文書等にて明確化しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

監査ルールは明文化していないが、外部監査については公認会計士の指導に基づき適正に行なっている。内部監査については、定期的に各校を訪問している。

## 小項目 9-1-4

私立学校法における財務情報公開の体制を整備し公開しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

常任理事会などで決定された「学校としての方針」に合わせて必要な事項を開示している。

## 小項目 9-1-5

固定資産管理規程を文書化し、固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

総務の作成した固定資産管理規程に従って管理されている。

## 小項目 9-1-6

図書管理規程(本部および養成施設等)を文書化し、適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

図書管理規程を文書化しており、総合図書館において、学校図書を管理、運営している。固定資産に計上されている図書の把握が課題。

## 基準 10 改革・改善

## 項目総括

自己点検・評価委員会を中心として自己点検評価・改善活動を行い、次年度に活かしている。  
また、結果は Web サイトを通じて公表している。

## 主な課題及び改善の方向性

どうしても自己点検・評価委員が中心となって業務にあたるため、他教職員への浸透という点ではなかなか難しいと感じる。  
この活動をどのように浸透させていくかは今後要検討。

また、本校では受験指導繁忙期と本委員会活動が重複することとなり、この点が課題。

## 中項目 10-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、自己点検・評価活動の実施体制が確立して、改革・改善のためのシステム構築がされているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

自己点検・評価委員会による実施体制ができており、この活動を通じて改革・改善を促している。

自己部門の取組みを定期的に反省する意味でも、この活動には意義がある。

## 小項目 10-1-1

自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールを文書化し、実施および改善のための組織化し活動しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

自己点検・評価項目一覧表に「めざすべき目標像」が明確になっており、レベルを評価できる状態となっている。自己点検・評価活動を動かす委員会を組織し、各職場で委員が中心となり、自己点検評価活動を行っている。定期的に自己点検・評価活動の意義や必要性について発信し、教職員が理解を深めている。

小項目 10-1-2

自己点検・評価の必要性を全教職員に伝え、評価結果を全教職員で共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

自己点検・評価を共有し、次年度に活かしている。

小項目 10-1-3

自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

適切に実施している。

小項目 10-1-4

自己点検・評価報告書を文書化し、学校の Web サイトに公開しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

適切に実施している。